



管理タスク

この章では、管理タスクについて説明します。この章の構成は次のとおりです。

- 「ユーザの管理」 (P.6-1)
- 「アラートの表示」 (P.6-5)
- 「ジョブ ステータスの表示」 (P.6-6)
- 「ログの表示」 (P.6-8)
- 「エラーの表示」 (P.6-10)
- 「Report Manager の使用」 (P.6-10)
- 「Cisco License Manager オプションの設定」 (P.6-17)

ユーザの管理

Cisco License Manager のユーザ管理部分が、機能の認証および認可を制御します。

インストールセットアップ時にデフォルト ユーザ（管理者）が作成されます。Administrator ロールを持つユーザだけが、他のユーザを追加、削除、および編集できます。管理者の削除はできません。

ここでは、次のユーザ管理について説明します。

- 「新規ユーザの追加」 (P.6-1)
- 「ユーザのプロファイル情報の編集」 (P.6-2)
- 「ユーザのロールの編集」 (P.6-4)
- 「ユーザの削除」 (P.6-4)

新規ユーザの追加

Administrator ロールを持つユーザだけが、新規にユーザ アカウントを追加できます。データ入力時の有効な文字およびガイドラインについては、「命名規則について」 (P.9-7) を参照してください。



(注)

Administrator ロールを持つユーザだけが、ユーザを追加または削除できます。Administrator ロールを持っていない場合は、自身の情報は編集できますが、別のユーザの情報は編集できません。

新規ユーザを追加するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Users] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Users] をクリックします。Manage Users エクスプローラがコンテンツ領域ペインに表示されます。
- ステップ 2** [New User] をクリックします。
[New User] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** 次の情報のいずれかを追加し、[OK] をクリックします。

フィールド	説明
[User ID]	ユーザ名。 (注) ユーザ名とユーザ ID は同じである。
[Password]	Cisco License Manager パスワード。
[Confirm Password]	Cisco License Manager パスワードを確認する。
[Assign Role]	次のロールのいずれかを選択する。 <ul style="list-style-type: none"> • Administrator • Inventory Management • PAK Management • License Management • Report Management

ユーザのプロファイル情報の編集

Cisco License Manager およびシスコ ログインのユーザ パスワードなど自身のユーザ情報を変更できます。Administrator ロールを持つユーザであれば、他のユーザのプロファイルも編集できます。Administrator ロールを持っていない場合は、他のユーザの情報は変更できません。データ入力時の有効な文字およびガイドラインについては、「命名規則について」(P.9-7) を参照してください。



ヒント

ユーザがライセンス情報を受信するには、有効な Cisco.com ユーザ ID を登録し、保有している必要があります。Cisco License Manager を正しく機能させるには、各ユーザが自身の Cisco.com ユーザ ID、パスワード、および電子メールアドレスを各自のユーザ プロファイルに追加する必要があります。



(注)

Administrator ロールを持つユーザだけが、ユーザを追加または削除できます。Administrator ロールを持っていない場合は、自身の情報は編集できますが、別のユーザの情報は編集できません。

既存のユーザ プロファイルに情報を追加するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [Manage Users] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Users] をクリックします。
Manage Users エクスプローラがコンテンツ領域ペインに表示されます。
- ステップ 2** 目的のユーザを選択し、[Edit Info] をクリックします。
[Edit User Information] ダイアログ ボックスが表示されます。
- ステップ 3** 次の情報のいずれかを変更し、[OK] をクリックします。

フィールド	説明
[User Information]	
[User ID]	ユーザ名。 (注) このフィールドは変更できない。ユーザ名とユーザ ID は同じである。
[Password]	Cisco License Manager パスワード。
[Confirm Password]	Cisco License Manager パスワードを確認する。
[First Name]	ユーザの名 (任意)。
[Last Name]	ユーザの姓 (任意)。
[Company Name]	ユーザの会社名 (任意)。
[Reseller]	ユーザのリセラー名 (任意)。これは、CSC-SSM 製品で使用される。
[Email Notification]	
[Email Address]	Cisco License Manager サーバからの通知を受信する有効な電子メール アドレス。
[Notification by Email]	Cisco License Manager からユーザの電子メールへの電子メールを許可する (任意)。
[Cisco Authentication]	
[Cisco Username]	有効な Cisco.com ユーザ名。
[Cisco Password]	シスコ ユーザ パスワード。
[Confirm Cisco Password]	シスコ ユーザ パスワードを確認する。
[Proxy Server Username]	有効な Cisco.com プロキシ ユーザ名。
[Proxy Server Password]	プロキシ ユーザ パスワード。
[Confirm Proxy Server Password]	プロキシ サーバ パスワード。
[License Options]	
[Show Expired/Expiring Licenses]	ユーザ ログイン時に、指定したユーザのすでに期限が切れたライセンスおよび期限切れが近づいているライセンスを表示する。
[Days to Expire]	サーバが返すライセンスの時間を日単位で指定する。 サーバは、指定の時間よりも前に期限切れになるライセンス ID をすべて返す。

ユーザのロールの編集

Administrator ロールを持つユーザは、別のユーザのロールを編集できます。「[ロールベースのユーザ管理](#)」(P.1-6) を参照してください。



(注)

ユーザが Cisco License Manager にログインしている間にユーザのロールが変更された場合、そのユーザは Cisco License Manager からログアウトします。

ユーザのロールを編集するには、次の手順を完了します。

-
- ステップ 1** [Manage] > [Manage Users] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Users] をクリックします。Manage Users エクスプローラがコンテンツ領域ペインに表示されます。
 - ステップ 2** ユーザを選択し、[Edit Role] をクリックします。[Edit User Role] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - ステップ 3** オプションからユーザに割り当てる新しいロールを選択し、[OK] をクリックします。
-

ユーザの削除

Administrator ロールを持つユーザは、ユーザ アカウントを削除できます。



(注)

Administrator ロールを持つユーザだけが、ユーザを追加または削除できます。Administrator ロールを持っていない場合は、自身の情報は編集できますが、別のユーザの情報は編集できません。ユーザが唯一のユーザである場合は、そのユーザが Administrator ロールを持っている必要があります。

ユーザを削除するには、次の手順を完了します。

-
- ステップ 1** [Manage] > [Manage Users] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [Users] をクリックします。Manage Users エクスプローラがコンテンツ領域ペインに表示されます。
 - ステップ 2** 目的のユーザを選択し、[Delete User] をクリックします。[Delete User] ダイアログ ボックスが表示されます。
 - ステップ 3** ユーザの削除を確定するには、[Yes] をクリックします。ユーザを削除しない場合は、[No] をクリックします。
-

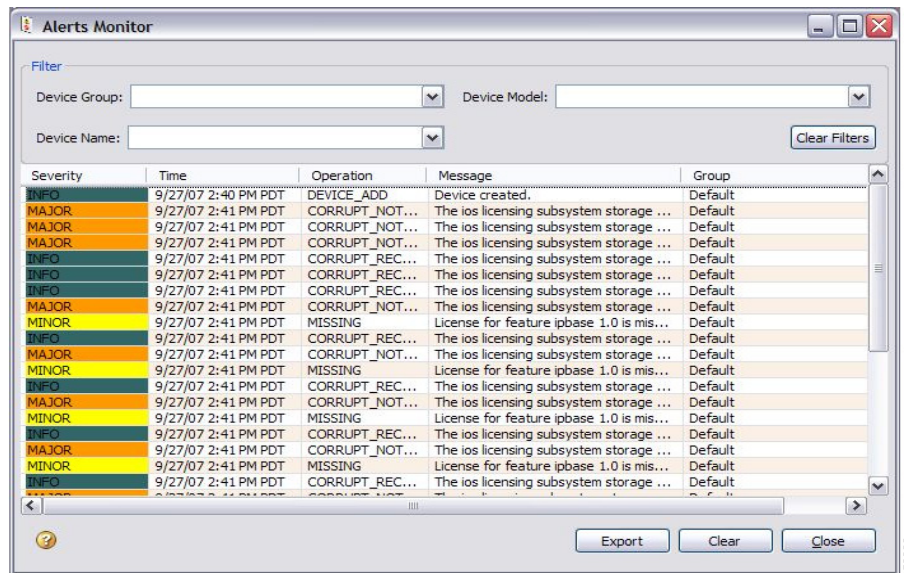
アラートの表示

シスコ デバイスおよび Cisco License Manager サーバがライセンス情報に関して送信する通知（アラート）を表示します。たとえば、破損したライセンスが見つかった場合には、アラートが送信されます。[Alerts Monitor] ダイアログ ボックスに表示されるアラートは、現在のログイン セッションで受信したものです。

アラートを表示、フィルタリング、エクスポート、またはクリアするには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Troubleshoot] > [View Alerts] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [View Alerts] をクリックします。

[Alerts Monitor] ダイアログ ボックスが表示されます。



次の表に、[Alerts Monitor] ダイアログ ボックスに関する詳細を示します。

フィールド	説明
[Filter]	
[Device Group]	フィルタに適用するデバイス グループを選択する。
[Device Name]	フィルタに適用するデバイス名を選択する。
[Device Model]	フィルタに適用するデバイス モデルを選択する。
[Clear Filters]	ボタンをクリックすると、フィルタがクリアされる。
[Alerts Monitor Table]	
[Severity]	重大度に応じて次のようにコードが色分けされている。 <ul style="list-style-type: none"> 重大：赤 大：オレンジ 小：黄 警告：青緑 情報：緑

フィールド	説明
[Time]	アラートが発生した日時。
[Operation]	ユニキャスト メッセージ。
[Message]	システム ステータスに関する情報。
[Group]	デバイス グループ。

- ステップ 2** アラートをフィルタリングするには、ドロップダウンメニューから目的のデバイス グループ、デバイス名、またはデバイス モデルを選択します。フィルタリングの方法を 1 つだけ選択することも、各ドロップダウンメニューから項目を選択することもできます。これらのフィルタの内容は、Cisco License Manager データベース内の情報に基づいて入力されます。たとえば、現在インベントリーに存在するデバイス名に対してだけ、フィルタリングが許可されます。



(注) フィルタをクリアし、フィルタリング プロセスを再開するには、[Clear Filters] をクリックします。

- ステップ 3** アラートを .csv ファイルにエクスポートするには、[Export] をクリックし、ファイルの保存先を参照し、[Save] をクリックします。

- ステップ 4** メイン ウィンドウのステータス バーからアラート フラグをクリアするには、[Clear] をクリックします。



(注) [Clear] をクリックしても、個々のアラートはクリアされません。単にアラートを読み取り用に分類し、アラート アイコンを [No new Alerts] に戻すだけです。

- ステップ 5** ダイアログ ボックスを閉じるには、[Close] をクリックします。

ジョブステータスの表示

Cisco License Manager サーバは、サーバ ジョブのリストを保持します。サーバ ジョブごとに、ジョブ ID、要求コメント文字列、作成日付と時刻、要求のステータス (complete や not complete など)、および戻りステータスが表示されます。戻りステータスには、要求に含まれる項目ごとにエラー コードおよびエラー メッセージが表示されます。このビューは定期的に更新されます。

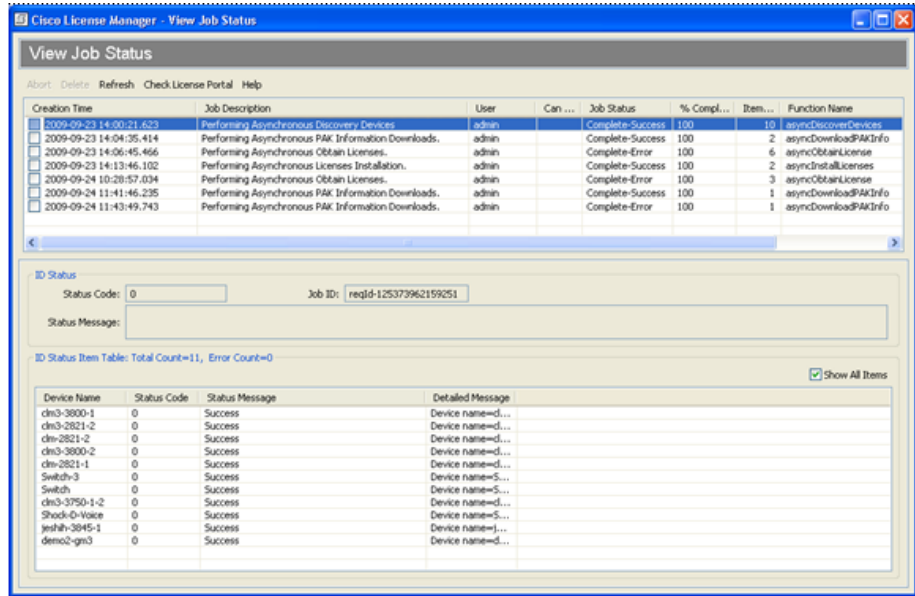
ジョブが起動中のときは、経過表示ステータスを表示できます。

非同期サーバ要求には、デバイスの検出、ライセンスのポーリング、PAK 情報のダウンロード、ライセンスの取得、ライセンスの展開、ライセンスへの注釈付け、およびポリシーの実行があります。

ジョブを表示するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [Manage] > [View Job Status] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [View Job Status] をクリックします。

[View Job Status] ダイアログ ボックスが表示されます。



次の表に、[View Job Status] ダイアログ ボックスに関する詳細を示します。

フィールド	説明
[View Job Status Table]	
[Creation Time]	要求が入力された日付と時刻。
[Job ID]	要求のジョブ識別子。
[Items]	この要求の項目の数。
[User]	操作を開始した担当者のユーザ名。
[Can Retry]	障害が発生した操作を再試行できる場合には、チェック マーク (✓) が表示される。
[Job Status]	ジョブのステータス (Complete-Success、Pending、Complete-Error)。  (注) ジョブ ステータスが Complete-Success である場合、操作はエラーなしで完了したことになります。ジョブ ステータスが Complete-Error である場合、操作は完了したものの、一部の項目でエラーが発生したことになります。
[% Complete]	ジョブの完了した割合。
[Function Name]	操作の機能名。
[Job Description]	機能名を説明する用語。
[ID Status]	
[Status Code]	操作全体のステータス (Success またはエラー コード)。
[Status Message]	コードが Success でない場合は、全体のエラー メッセージ。
[Job ID]	非同期機能を表す一意の文字列。
[ID Status Item Table]	
[Show All Items]	選択したジョブに含まれているデバイスがすべて表示される。
[ID]	関与する個々のデバイスの ID、ライセンス、または PAK。

フィールド	説明
[Status Code]	個々の操作のステータス (Success またはエラー番号)。
[Status Message]	ステータス コードが Success でない場合は個々のエラー メッセージ。
[Detailed Message]	必要に応じてサーバから返される追加のエラー メッセージ。

- ステップ 2** ジョブの進捗状況を表示するには、ジョブを強調表示し、右クリックして、[View Progress] を選択します。
- ステップ 3** ジョブが失敗した場合は、ジョブを強調表示し、右クリックして、[Retry Failed Items] を選択します。
- ステップ 4** 1 つ以上のジョブをキャンセルするには、ジョブの横にあるチェックボックスをオンにし、[Abort] をクリックします。
- ステップ 5** 1 つ以上のジョブを削除するには、ジョブの横にあるチェックボックスをオンにし、[Delete] をクリックします。
- ステップ 6** [View Job Status] ダイアログ ボックスをリフレッシュするには、[Refresh] をクリックします。
- ステップ 7** シスコ製品ライセンス登録ポータルへの接続を確認するには、[Check License Portal] をクリックします。

ステータス エラー レベル

Cisco License Manager には、次の 2 つのステータス レベルがあります。

- 全体的な操作ステータス：ライセンスのポーリング、注釈付け、取得、展開など、バルク要求に対するステータスを示します。1 つ以上のデバイスにステータスが表示されることがあります。バルク操作が完了すると、ステータスには **Complete** と表示されます。その後、個々のステータス結果が [ID Status Item Table] に記載されます。
- 個々の操作ステータス：バルク要求の個々の結果に対するステータスを示します。ジョブ要求には、ID が割り当てられます (たとえば、reqID1157740568514)。行を選択すると、ジョブ要求を表示できます。バルク操作ステータスが正常に完了している場合でも、個々の操作ではエラーが返されることがあります。常に個々のステータスを確認してください。

この 2 つのステータス レベルは、次のようにステータス ID に表示されます。

Bulk operation status:Individual result status

たとえば、ポーリング操作が完了したときに Complete-Success が表示されることがあります。このステータス メッセージは、ポーリング操作が正常に完了し、個々の項目にエラーがないことを示します。上位のステータスが Complete-Error である場合、操作は完了したものの、個々の項目にエラーがあります。個々のメッセージを表示する際に、ポーリング結果を見て、デバイス到達時にエラーが発生したことに気づくことがあります。このようなことが起きるのは、操作レベルではアクションの個々の結果がマークされず、全体として要求のステータスだけがマークされるためです。

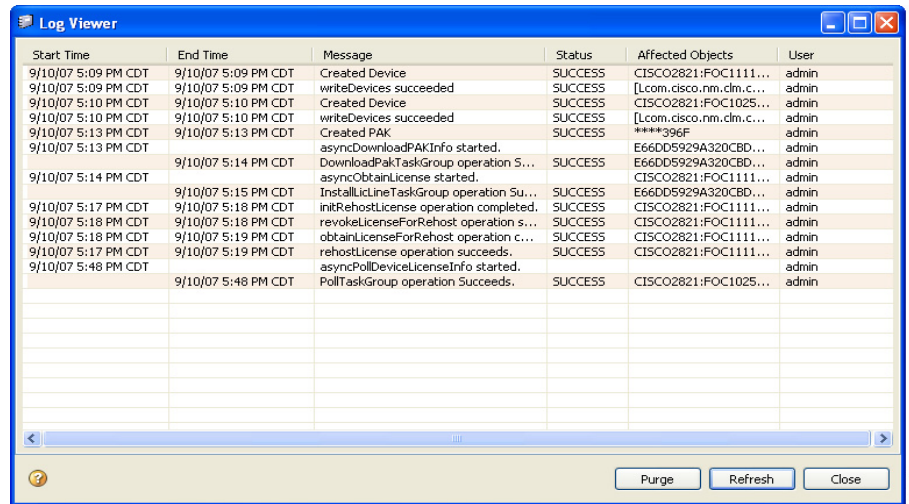
ログの表示

過去のすべてのアクティビティの監査証拠を参照する場合は、ログを表示します。ログを参照すると、監査証拠の最後の n 個のエントリを表示できます。

ログを表示、リフレッシュ、および消去するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Troubleshoot] > [View Audit Log] を選択するか、または [Quick Links] ペインの [View Audit Log] をクリックします。

[Log Viewer] ダイアログ ボックスが表示されます。



次の表に、[Log Viewer] ダイアログ ボックスに関する詳細を示します。

フィールド	説明
[Start Time]	タスクの開始時間。
[End Time]	タスクの終了時間。
[Message]	実行したタスク。
[Status]	タスクのステータス (success または failure)。
[Affected Objects]	タスクの影響を受けたオブジェクト。
[User]	タスクを実行したユーザ。

ステップ 2 ログをダブルクリックして、ログの詳細を表示します。

ステップ 3 列見出しをクリックして、ログを見出しタイトルでソートします。

ステップ 4 [Log Viewer] ダイアログ ボックスからログを消去するには、[Purge] をクリックします。このアクションでは、5000 を超えているログが削除されます。

ステップ 5 ダイアログ ボックスをリフレッシュし、サーバから新しいエントリを取得するには、[Refresh] をクリックします。このダイアログ ボックスは、自動的に新しいデータにリフレッシュされません。[Refresh] をクリックして、そのデータを要求する必要があります。

エラーの表示

Cisco License Manager 内でエラーが発生すると、[Cisco License Manager Error] ダイアログ ボックスが表示されます。次の表では、このダイアログ ボックスのフィールドについて説明します。

フィールド	説明
[Status]	
[Error Code]	サーバが割り当てたエラー コード。
[Fault]	エラー コードの変換。
[Detailed Message]	エラーが Cisco License Manager サーバから返されたものである場合には、そのエラーに関する詳細なエラー メッセージ。
[Possible Cause]	エラーを引き起こしたと考えられる原因。
[Possible Remedy]	そのエラーまたは問題の排除に有効な解決策。
[Item Status]	
[Item #]	項目番号。
[Item ID]	エラー項目 ID。
[Error Code]	サーバが割り当てたエラー コード。
[Fault]	エラー コードの変換。
[Detailed Message]	エラーが Cisco License Manager サーバから返されたものである場合には、そのエラーに関する詳細なエラー メッセージ。
[Possible Cause]	エラーを引き起こしたと考えられる原因。
[Possible Remedy]	そのエラーまたは問題の排除に有効な解決策。

Report Manager の使用

ここでは、インベントリ内のすべてのデバイスに関してライセンス情報を監視およびトラッキングするのに使用できるレポートについて説明します。レポートは、HTML 形式またはプレーン テキスト形式で表示できます。レポートに掲載される情報が多くなると、ブラウザに複数の HTML ページとして表示されます。各レポートのウィンドウで、レポートを保存することはできません。表示することのみ可能です。Report Manager には次のレポートが用意されています。

- **Audit Trail Report** : Cisco License Manager 操作の監査証跡が掲載されます。このレポートを使用すると、Cisco License Manager の使用状況をトラッキングできます。
- **Device Summary Report** : デバイス ライセンスに関する要約情報が掲載されます。このレポートを使用すると、デバイス上のライセンス可能な機能を特定し、その機能がライセンスによってアクティブになっているかどうかを確認できます。
- **Hardware End of Life and End of Sale Report** : ネットワーク内のデバイスおよびモジュールに関する情報が掲載されます。このレポートをフィルタリングするためのオプションはありません。
- **Software End of Life and End of Sale Report** : ネットワーク内のデバイスおよびモジュールに関する情報が掲載されます。このレポートをフィルタリングするためのオプションはありません。
- **License Discrepancy Report** : デバイスと Cisco License Manager データベースとの間でのライセンス不一致に関する詳細が掲載されます。このレポートを使用すると、Cisco License Manager を使用せずに展開およびクリアされるライセンスを特定できます。

- **License Expiry Report** : デバイスのライセンス有効期限情報が掲載されます。このレポートを使用すると、すでに期限が切れているか、または後日期限切れになるソフトウェア機能が搭載されているデバイスを特定できます。
- **Newly Discovered Device Report** : 使用中の環境で新たに検出されたデバイスに関する詳細が掲載されます。
- **PSIRT Summary Report** : PSIRT に関する情報が掲載されます。PSIRT を利用すると、ネットワークのセキュリティ脆弱性をトラッキングできます。
- **PSIRT Details Report** : PSIRT に関する情報が掲載されます。PSIRT を利用すると、ネットワークのセキュリティ脆弱性をトラッキングできます。
- **Redeployable License Report** : デバイスの再展開可能なライセンスに関する詳細が掲載されます。このようなライセンスは、ライセンスが展開されているデバイスには適用できないことがあります。これらのライセンスは、ソフトウェア機能をサポートするデバイスに再ホストできます。
- **RMA Discrepancy Report** : RMA プロセス経由で返されると表示されているものの、引き続きネットワークで稼動しているデバイスに関する詳細が掲載されます。RMA の詳しい情報が必要な場合は、シスコ サポート 担当者に問い合わせてください。
- **Undeployed License Report** : Cisco License Manager データベース内の未展開のライセンスに関する詳細が掲載されます。このようなライセンスはすでに取得されていますが、まだ展開されていません。このレポートを使用すると、インベントリーのどのデバイスにライセンスを適用できるかを特定できます。



(注)

Cisco License Manager Java および Perl の Software Developer Kit (SDK; ソフトウェア開発キット) を購入すると、Application Programming Interface (API; アプリケーション プログラミング インターフェイス) を使用して、レポートを実行できます。注文するには、シスコ注文ページ (www.cisco.com/web/ordering/or13/or8/order_customer_help_how_to_order_listing.html) にアクセスしてください。

ここでは、Report Manager の使用方法について説明します。

- 「レポート タイプ」 (P.6-11)
- 「レポートの生成、表示、印刷、およびエクスポート」 (P.6-15)

レポート タイプ

ここでは、次のレポートについて詳しく説明します。

- 「Audit Trail Report」 (P.6-12)
- 「Hardware End of Life and End of Sale Report」 (P.6-12)
- 「Hardware End of Life and End of Sale Report」 (P.6-12)
- 「Software End of Life and End of Sale Report」 (P.6-13)
- 「License Discrepancy Report」 (P.6-13)
- 「License Expiry Report」 (P.6-13)
- 「Newly Discovered Device Report」 (P.6-14)
- 「Redeployable License Report」 (P.6-14)
- 「RMA Discrepancy Report」 (P.6-14)
- 「PSIRT Summary Report」 (P.6-14)

- 「[PSIRT Details Report](#)」 (P.6-15)

Audit Trail Report

Audit Trail Report には、Cisco License Manager 操作の監査証跡が掲載されます。このレポートを使用すると、Cisco License Manager の使用状況をトラッキングできます。

Audit Trail Report には、次の情報が含まれています。

- 監査証跡 ID
- ユーザ
- 開始時間
- 終了時間
- 操作
- ステータス
- メッセージ
- 影響を受けたオブジェクト
- 操作ステータス

Device Summary Report

Device Summary Report には、現在のデータベース内のすべてのデバイスおよびライセンス情報が掲載されます。デバイス モデル統計情報を含めた要約が表示されます。各モデルをクリックすると、そのモデルのデバイス要約情報を示した表を参照できます。

Device Summary Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス ID
- UDI
- デバイス モデル
- 状態
- ライセンス可能な機能

Hardware End of Life and End of Sale Report

Hardware End of Life and End of Sale Report には、ネットワーク内のデバイスおよびモジュールに関する情報が掲載されます。このレポートをフィルタリングするためのオプションはありません。

Hardware End of Life and End of Sale Report には、次の情報が含まれています。

- OID
- CLM PID
- 該当デバイス
- 詳細リスト

Software End of Life and End of Sale Report

Software End of Life and End of Sale Report には、ネットワーク内のデバイスおよびモジュールに関する情報が掲載されます。このレポートをフィルタリングするためのオプションはありません。

Software End of Life and End of Sale Report には、次の情報が含まれています。

- ID
- リリース終了 ID
- メジャー リリース
- ED 指定子
- OS タイプ
- 最後のバージョン

License Discrepancy Report

License Discrepancy Report には、Cisco License Manager ライセンス インベントリとネットワークに展開された実際のライセンスとの不一致が掲載されます。たとえば、API を使用してライセンスをネットワークに展開した場合、そのライセンスはポーリングが行われるまで Cisco License Manager ライセンス インベントリに存在しません。

License Discrepancy Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス名
- UDI
- ライセンス ライン ID
- 機能名
- アクティベーションの状態
- ソース
- 展開の状態

License Expiry Report

License Expiry Report には、デバイスのライセンス有効期限情報が掲載されます。このレポートを使用すると、すでに期限が切れているか、または後日期限切れになるソフトウェア機能が搭載されているデバイスを特定できます。

License Expiry Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス名
- モデル
- UDI
- 状態
- ライセンス可能な機能



(注)

ライセンス可能な機能の情報には、機能、タイプ、有効期限などが含まれます。

Newly Discovered Device Report

このレポートには、最後に実行した検出でデータベースに追加されるデバイスのリストが掲載されます。デバイス検出が完了するたびに、直前のレポートが上書きされます。

Newly Discovered Device Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス名
- ホスト名
- モデル
- タイプ
- UDI
- IP アドレス

Redeployable License Report

Redeployable License Report では、デバイスでアクティブに使用されているライセンス許可された機能が、デバイスにインストールされている機能ライセンスと比較されます。デバイスに展開されているものの、そのデバイスで使用されていない機能ライセンスは別の場所に展開できます。

Redeployable License Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス名
- UDI
- ライセンス ライン ID
- 機能名
- ステータス

RMA Discrepancy Report

RMA Discrepancy Report には、RMA プロセス経由で返されると表示されているものの、引き続きネットワークで稼動しているデバイスに関する詳細が掲載されます。RMA の詳しい情報が必要な場合は、シスコ サポート担当者に問い合わせてください。

RMA Discrepancy Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス名
- モデル
- UDI
- 状態
- ライセンス可能な機能

PSIRT Summary Report

PSIRT Summary Report には、IOS PSIRT に関する詳細な要約が掲載されます。IOS PSIRT を利用すると、ネットワークのセキュリティ脆弱性をトラッキングできます。

PSIRT Summary Report には、次の情報が含まれています。

- ID

- IOS バージョン
- 該当デバイス

PSIRT Details Report

PSIRT Details Report には、PSIRT に関する情報が掲載されます。PSIRT を利用すると、ネットワークのセキュリティ脆弱性をトラッキングできます。

PSIRT Details Report には、次の情報が含まれています。

- ID
- PSIRT ID
- 重大度
- 見出し
- 最初の公開内容
- 外部 URL

Undeployed License Report

Undeployed License Report には、ユーザが取得したものの、まだ展開していないすべてのライセンスが掲載され、インベントリ内のどのデバイスにライセンスを適用できるかが示されます。未展開ステータスとは、ライセンスがまったくインストールされなかったことを意味する場合と、ライセンスはインストールされたものの、後にクリアされたことを意味する場合があります。

Undeployed License Report には、次の情報が含まれています。

- デバイス名
- UDI
- 未展開ライセンス情報
 - ライセンス ライン ID
 - 機能名

たとえば、デバイスに高度な IP サービスを展開する必要がある場合には、このレポートを使用して、そのニーズに合ったライセンスを見つけることになります。その後、PAK フォルダに移動し、ライセンスの場所を特定してデバイスに展開できます。別のデバイスにライセンスを展開する場合は、そのライセンスを再ホストして別のデバイスに展開できます。

レポートの生成、表示、印刷、およびエクスポート

インベントリ内のすべてのデバイスのライセンス情報を監視およびトラッキングするには、レポートを生成して表示します。

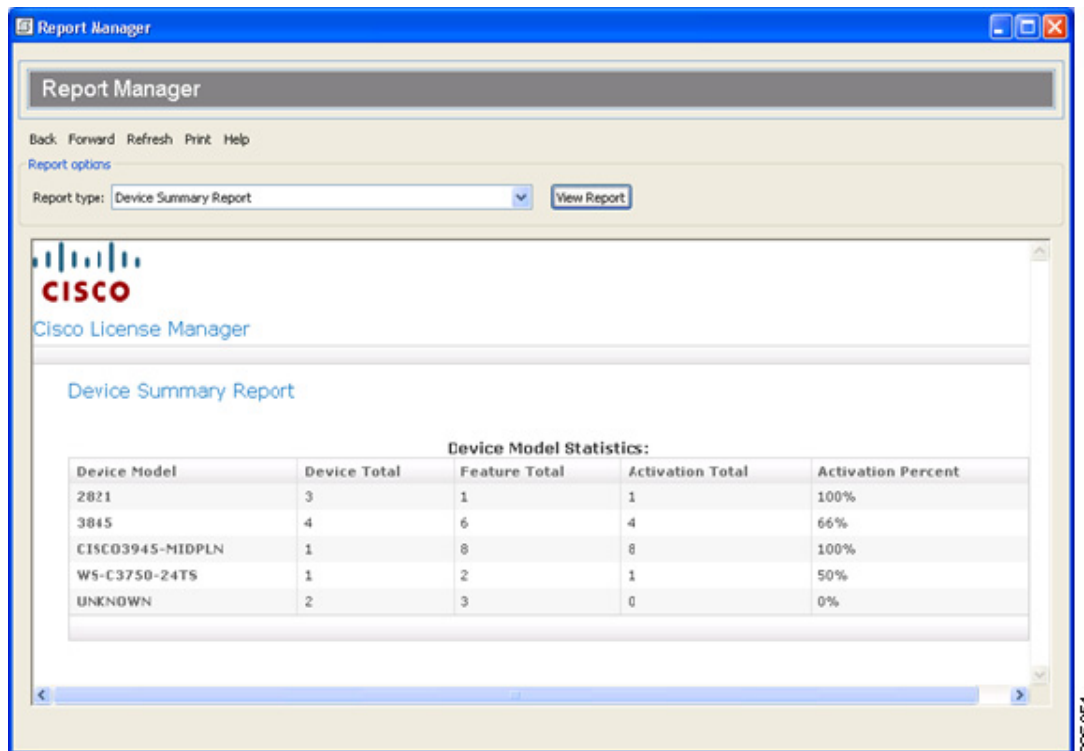
レポートを生成して表示するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Quick Links] ペインで [Reports] を選択します。



(注) リストの先頭にあるレポートの生成が、デフォルトのグループ フィルタですぐに始まります。この処理には、ある程度時間がかかります。

[Report Manager] ダイアログ ボックスが開き、最初に生成されたレポートが表示されます。



ステップ 2 別のレポートを生成する場合は、ドロップダウン リストからレポート タイプを選択し、[View Report] ボタンをクリックします。

ステップ 3 [View Report] をクリックします。

[report filter] ダイアログ ボックスが表示されます。[Device]、[License]、[PAK] の 3 つのタブがあります。デバイス オプションには、[Device Model]、[Device Group]、[IP Range]、[Software Version]、[Device Capabilities] などがあります。ライセンス オプションには、[License Type] や [License Expiring In] などがあります。PAK オプションには、[PAK Name] や [Feature Name] などがあります。

ステップ 4 フィルタを設定します。たとえば、[License Expiring In] フィルタに日数を設定して、期限切れが近づいているライセンスのレポートを生成します。



(注) Audit Trail Report、Hardware EOS/EOL Report、Software EOS/EOL Report、Newly Discovered Device Report、PSIRT Summary Report、および PSIRT Details Report には、フィルタが用意されていません。



ヒント インベントリに大量のデバイスがある場合、レポートの生成には非常に時間がかかることがあります。また、レポートに掲載される情報が多すぎて、効率よく情報を参照できなくなることもあります。このような場合には、レポート フィルタを使用して、情報量の少ないレポートを 1 つずつ生成します。

ステップ 5 [Regenerate] をクリックして新しいレポートを生成するか、または [Retrieve] をクリックして現在のレポートを取得します。

ステップ 6 レポートを印刷するには、[Print] をクリックします。プリンタ オプションを設定し、[Print] をクリックします。

ステップ 7 レポートをエクスポートするには、右クリックし、[Export to Microsoft Excel] を選択します。ファイルタイプを選択します (.html、.csv、または .txt)。[Save] をクリックします。



(注) Linux および Solaris では、HTML がデフォルトのファイルタイプとなります。ファイル名にファイル拡張子を指定していない場合は、デフォルトが使用されます。

ステップ 8 生成したレポートを切り替えるには、ドロップダウンリストからレポートを選択し、[View Report] をクリックします。レポートには、生成日が表示されません。

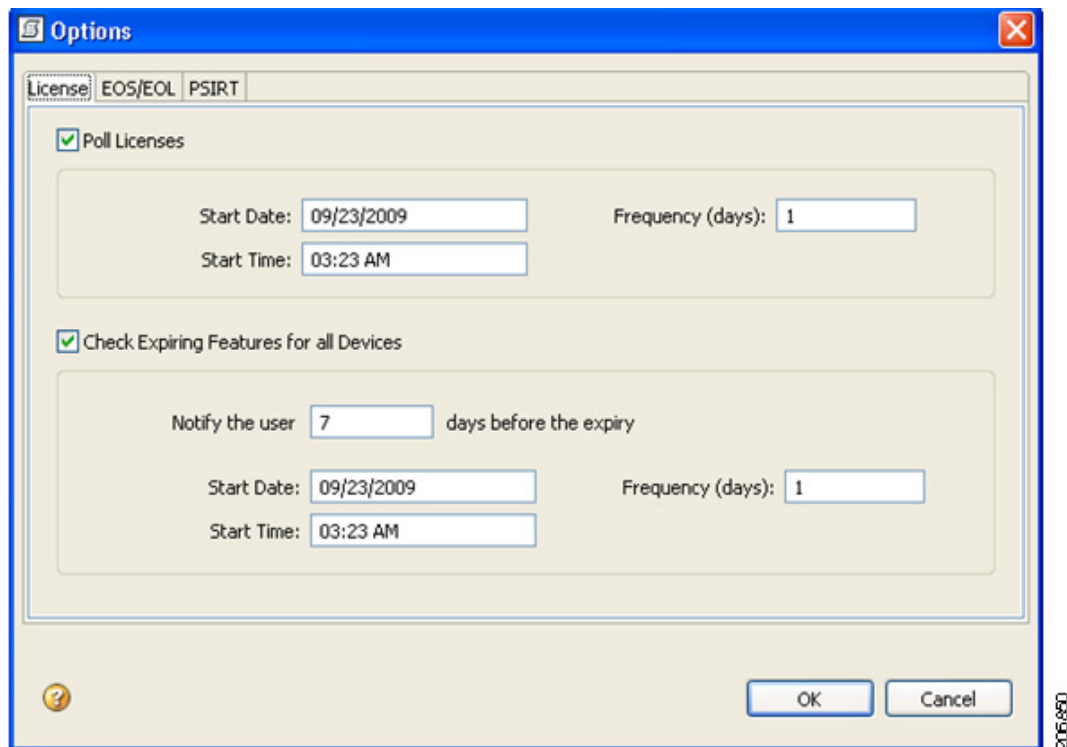
Cisco License Manager オプションの設定

[Options] 機能は、Cisco License Manager でライセンスをポーリングする頻度を設定し、期限切れが近づいているライセンスがないか確認する場合に使用します。次のタブのいずれかをクリックすると、オプションを設定できます。

- [License]
- [EOS/EOL]
- [PSIRT]

サーバで EOS/EOL と PSIRT の各レポートを生成するには、EOS/EOL および PSIRT の設定をセットアップする必要があります。オプションを設定するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [Edit] > [Options] を選択します。
[Options] ダイアログ ボックスが表示されます。



ステップ 2 ライセンスのポーリングに関するオプションを設定する場合は、次の手順を実行します。

- [Poll Licenses] チェックボックスをオンにします。
- 開始日を入力します。
- 開始時間を入力します。
- ライセンスのポーリングをチェックする頻度を日数で設定します。



(注) 日付は、mm/dd/yyyy 形式で入力します。時刻は、hh:mm am/pm 形式で入力します。

ステップ 3 すべてのデバイスについて期限切れが近づいている機能がないか確認するためのオプションを設定する場合は、次の手順を実行します。

- [Check Expiring Features For All Devices] チェックボックスをオンにします。
- ライセンスの有効期限を通知するまでの日数を入力します。
- 開始日を入力します。
- 開始時間を入力します。
- すべてのデバイスについて期限切れが近づいている機能をチェックする頻度を日数で設定します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。